

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A) 昭63-238870

⑬ Int.Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和63年(1988)10月4日

A 61 M 5/00

3 2 0

7184-4C

審査請求 有 発明の数 1 (全8頁)

⑯ 発明の名称 プログラム可能な連続微量注入ポンプ

⑰ 特 願 昭62-71744

⑱ 出 願 昭62(1987)3月27日

⑲ 発 明 者 富 士 谷 章 東京都渋谷区恵比寿3丁目43番2号 日機装株式会社内
⑳ 発 明 者 田 中 繁 東京都渋谷区恵比寿3丁目43番2号 日機装株式会社内
㉑ 出 願 人 日 機 装 株 式 会 社 東京都渋谷区恵比寿3丁目43番2号
㉒ 代 理 人 弁理士 浜田 治雄

明 細 書

1. 発明の名称

プログラム可能な連続微量注入ポンプ

2. 特許請求の範囲

(1) 注入液を貯留するシリンジと、このシリンジ内に挿通されプランジャにより一定方向に押圧移動するピストンと、前記プランジャに結合してこれを往復駆動させる移動体と、この移動体に結合する送りねじ軸と、この送りねじ軸を回転駆動する駆動手段とを備えた連続微量注入ポンプにおいて、

昼間注入開始時刻、昼間注入速度、夜間注入開始時刻、夜間注入速度、注入濃度および予定注入量などの注入パターンを決定する複数の項目を逐次選択し得る1箇の項目選択スイッチと、

選択された項目の設定数値を逐次入力し得る設定数値入力スイッチと、

開始/停止スイッチとからなる3つのスイッチによりプログラム制御システムを構成し、

前記各スイッチの操作により予め設定した注入パターンに従って前記駆動手段を駆動制御することを特徴とするプログラム可能な連続微量注入ポンプ。

(2) 特許請求の範囲第1項記載のプログラム可能な連続微量注入ポンプにおいて、項目選択スイッチは、一時注入開始時刻および一時注入速度からなる注入パターンを決定する項目を含むことを特徴とするプログラム可能な連続微量注入ポンプ。

(3) 特許請求の範囲第1項記載のプログラム可能な連続微量注入ポンプにおいて、項目選択スイッチは、最新ボラス注入量および最新ボラス注入時刻を表示する項目を含み、さらにボラス注入可能な外部操作レバーを備えることを特徴とするプログラム可能な連続微量注入ポンプ。

3. 発明の詳確な説明

(産業上の利用分野)

この発明は、人体等に所定時間継続して輸

薬等の微量注入を行う連続微量注入ポンプに
振り、特に所望量の輸液注入を時間の経過と
共に予め設定したプログラムに従って変換さ
せることができるプログラム可能な連続微量
注入ポンプに関する。

(従来の技術)

従来、この種の微量注入ポンプとして、例
えば、低圧可能な程度の大きさを持つハウ
ジングを備え、このハウジング内に、シリン
ジとこれに挿入されるピストンとからなるポン
プ機構、前記ピストンに嵌合するプランジ
ャの操作端部に取付けた移動部材、この移動
部材に嵌合し前記プランジャと平行に配置さ
れたねじ軸、このねじ軸を回転駆動する電動
モータおよびその制御回路を収納配置した機
殻からなるポンプ装置が設置されている(例
えば、特開昭58-221955号公報)。

しかるに、前記ポンプ装置は、パルス発生
器により発生するパルス数に比例して電動モ
ータを駆動し、所望の輸液注入速度を得るも

のであり、予め一定の基礎指令パルス数を設
定して電動モータを駆動し、必要に応じて基
礎指令パルス数以上のパルス数を生じさせて
輸液注入速度を可変に設定し得るものである。
しかしながら、この種のポンプ装置は、必要
に応じて制御機構に対し手動操作によって輸
液注入速度の調整を行うものであり、例えば
糖尿病患者に対するインスリン投与等のよう
に、一日のしかも変換性のある微量注入をプ
ログラマブルに行うことは困難である。

このような観点から、出願人は先に、ポン
プ部と、輸液パターンの周期を設定するタイ
マ制御部と、輸液パターンの周期を蓄積ステ
ップに分割設定するステップデータ入力部と、
輸液量データ入力部と、輸液量データを記憶
しワンステップ毎に前記データをポンプ駆動
制御部に送出するメモリ部と、メモリ部から
の輸液量データ信号をこの信号に比例したモ
ータ駆動信号に変換してポンプ駆動用電動モ
ータを駆動するポンプ駆動制御部とから構成

- 3 -

した輸液注入ポンプ装置を開発した(特公開
59-11923号公報および特公開60-
57977号公報)。

このように構成したポンプ装置は、例えば、
糖尿病患者に対するインスリン治療において、
一日毎回のインスリン投与法に代えて、患者
の一日における血糖変動パターンに合わせて
プログラマブルなインスリン投与を簡便に形
成することができる。

(発明が解決しようとする課題)

前述した従来のプログラマブルな駆動制御
を行うことができる輸液注入ポンプ装置は、
入力すべき輸液量データを微細に設定するこ
とが可能であり、従って輸液パターンの周期
も変換性に富んだ設定が可能であることから、
多くの患者のそれぞれ個性に適合させた輸液
注入プログラムを作成でき、汎用性に優れた
システムを提供することができる。しかしな
がら、反面において、プログラムの作成やデ
ータの入力に關し多くのテンキーやファンク

ションキーを操作する必要があり、また制御
性能の向上に伴う制御システムを構成するた
めの電子部品も多くなるばかりでなく制御回
路も複雑化し、装置も大型化し、低価格とし
て不便となる面を有する。

前述したように、糖尿病患者に対するイン
スリン投与は、微量かつ連続的に行うことが
必要とされ、このため低圧に便利にようにボ
ケットサイズの超小形化が要求され、さらに
患者自身が簡便に操作し得ると共に注入プ
ログラムも容易に設定および変更できることが
要求される。しかしながら、先に開示した機
殻構成のように、微細な注入プログラムを設
定するには、操作の簡便性並びに装置の小形
化にも限界がある。

そこで、一般的なおインスリン治療におけ
る投与量を検討してみると、基本的に患者が活
動している昼間時と睡眠をとっている夜間時
とにおいて投与量を変換させることが望まし
い。また、患者の一日における生活リズムの

- 5 -

- 6 -

変化により、血糖値が変動する場合があり、これに対応するためインスリンの一次的な増大または減少を行う必要があり、従ってこのような一時注入を行うタイミングが設定できれば好適である。さらに、患者の血糖値の変動は食事量に生じることから、このタイミングに合せてボラス注入を行うことができれば好適である。そこで、基本的にこのような注入制御が患者の一日のスケジュールに合せてプログラマブルに設定および変更できれば充分である。すなわち、例えば、昼間と夜間とのそれぞれ時間設定とその間における注入速度、一時注入開始時刻およびその注入速度等が設定できればよい。これに伴い、装置の小型化並びにプログラマブルなインスリンの注入を行うための機構並びに操作の簡略化が可能となる。

従って、本発明の目的は、薬液等の注入を行う連続微量注入ポンプにおいて、連続注入プログラムを簡単に設定および変更すること

ができると共に、操作機構の簡略化と操作の容易化を実現し、超小形に構成することができ、プログラム可能な連続微量注入ポンプを提供するにある。

(問題点を解決するための手段)

本発明に係るプログラム可能な連続微量注入ポンプは、注入量を制御するシリンジと、このシリンジ内に移送されるプランジャにより一定方向に押圧移動するピストンと、前記プランジャに結合してこれを往復動作させる移動体と、この移動体に結合する送りねじ軸と、この送りねじ軸を回転駆動する駆動手段とを備えた連続微量注入ポンプにおいて、

昼間注入開始時刻、昼間注入速度、夜間注入開始時刻、夜間注入速度、注入速度および予定注入量などの注入パターンを決定する複数の項目を逐次選択し得る1個の項目選択スイッチと、

選択された項目の設定数値を逐次入力し得る設定数値入力スイッチと、

- 7 -

開始/停止スイッチとからなる3つのスイッチによりプログラム制御システムを構成し、前記各スイッチの操作により予め設定した注入パターンに従って前記駆動手段を駆動制御することを特徴とする。

前記のプログラム可能な連続微量注入ポンプにおいて、項目選択スイッチは、一時注入開始時刻および一時注入速度からなる注入パターンを決定する項目を設けることができる。

また、項目選択スイッチには、最新ボラス注入量および最新ボラス注入時刻を表示する項目を設け、ボラス注入可能な外部操作レバーを設ければ好適である。

(作用)

本発明に係るプログラム可能な連続微量注入ポンプによれば、ポンプの駆動制御を行うプログラム制御システムにおいて、注入プログラムの設定および変更につき、注入開始時刻、注入速度、予定注入量および注入速度等の注入パターンを1個の項目選択スイッチ

で順次選択することができ、しかも選択された前記注入パターンの各項目に対し1個の設定数値入力スイッチで予め設定された範囲内で所定のステップ変化で逐次所望の値に設定することができる。従って、簡単な操作で注入プログラムの作成ができ、注入量の適正な連続微量注入を実現することができる。

(実施例)

次に、本発明に係るプログラム可能な連続微量注入ポンプの実施例につき添付図面を参照しながら以下詳細に説明する。

第1図に、本発明に係る連続微量注入ポンプの要部であるプログラム制御システムの構成図である。すなわち、第1図に示すプログラム制御システムは、3個の操作スイッチ10、12、14と、制御部16と、表示部18とから構成され、前記制御部16の出力端子により電機モータ20を駆動制御してシリンジポンプ22の運転を行うものである。しかるに、前記操作スイッチは、電機モータ

- 9 -

- 10 -

20の運転の開始と停止とを指令する開始／停止スイッチ10と、注入パターンを作成するため各項目の設定を行う項目選択スイッチ12と、各項目における数値設定を行うための設定数値入力スイッチ14から構成される。また、制御器16は、CPU24と、前記各操作スイッチ10、12、14からの外部信号をCPU24へ入力するための入力インタフェース26と、プログラムを記憶するメモリ28と、CPU24より外部信号を出力するための出力インタフェース30とから構成されている。従って、前記制御器16の出力インタフェース30から、電動モータ20を制御するための制御出力信号と、表示部18への表示信号とが出力される。なお、電動モータ20には、回転センサ32が設けられ、電動モータ20の動作状態を制御器16へフィードバックして制御の安定化を図っている。

第2図は、本発明に係る連続搬送注入ポン

プのポンプ構造を示すものである。

第2図において、参照符号34はケーシングを示し、全体の大きさはボケットサイズの最小形に構成される。このケーシング34内には、シリンドリカル36と、これに挿入されるピストン38およびブランジャ40と、このブランジャ40を押圧移動させる移動体42と、この移動体42を移動させる減速機構44を備えた電動モータ46とがそれぞれ設けられている。なお、前記電動モータ46の回転出力は、減速機構44を介して、回転センサ32およびピニオン48に伝達される。一方、前記移動体42にはブランジャ40と平行に配置された送りねじ軸50が結合され、この送りねじ軸50の一端部と前記ピニオン48とが適宜ギヤ機構52を介して結合される。なお、ケーシング34の一部には、増圧用増地収納部54が設けられ、市販の増地56を交換自在に収納し得るよう構成されている。また、シリンドリカル36の先端部には輪軸チーム58

が設けられ、その先端に注入針60が取り付けられる。さらに、ケーシング34の一部には、外部操作可能な手動レバー62を設け、このレバー62の後端運動をコイルばねからなるワンウェイクラッチ64を介して前記ギヤ機構52の一部と噛合する歯車66に伝達するよう構成し、前記ギヤ機構52に対し付加的な回転を与えてボラス注入を行えるよう構成されている。なお、この場合、ギヤ機構52側にもコイルばねからなるワンウェイクラッチ68が設けられる。

次に、前述した本発明に係る連続搬送注入ポンプにおけるプログラム制御システムを構成する操作スイッチの機能につき、注入プログラムの作成手順につき、その表示例と共に説明する。

第3図は、第2図に示す連続搬送注入ポンプの操作スイッチ10、12、14と表示器18の構成配列を示し、これら操作スイッチのうち、項目選択スイッチ12と設定数値入

力スイッチ14を使用して注入プログラムを作成することができる。すなわち、項目選択スイッチ12を順次操作することにより、

(1) インスリン濃度、(2) 昼間注入開始時刻、(3) 昼間注入速度、(4) 一時注入開始時刻、(5) 一時注入速度、(6) 夜間注入開始時刻、(7) 夜間注入速度、(8) 現在時刻、(9) 予定量、(10) 換算値、(11) 最新ボラス注入量、(12) 最新ボラス注入時刻についての項目が順次選択される。そこで、各項目において、数値の設定もしくは変更を行う場合、これらは前記設定数値入力スイッチ14により、予め設定した設定範囲および単位によって順次入力することができる。例えば、インスリン濃度の場合、その設定範囲は、予め20U、40Uまたは100Uと設定されており、設定数値入力スイッチ14を操作することにより、前記いずれかのインスリン濃度を選択設定することができる。このように選択設定された注入プログラムは、第4図に示すように、

表示することができる。また、各種の注入開始時刻は、1:00～12:00の設定範囲で午前(A.M.)から午後(P.M.)に亘って各1時間単位(ステップ)にて設定することができる、しかもその場合の注入速度についても、前述したインスリン濃度によって0.00～12.15の設定範囲で0.01～0.05 U/H単位(ステップ)にて設定することができる。なお、これらの詳細は第4図に示す通りである。すなわち、第4図に示す項目選択スイッチにより選択される項目は、昼間注入開始時刻と夜間注入速度および一時注入開始時刻と一時注入速度からなる注入制御項目と、インスリン濃度および予定注入量からなる設定項目と、注入解釋度、最新ボラス注入量、最新ボラス注入時刻もしくは現在時刻からなる表示項目とそれぞれ分割することができる。なお、現在時刻は調整可能である。また、この場合、ボラス注入は所望に応じて随時可能であり、患

者の手動によるレバ-62の操作で、所定量の注入を行うことができる。

従って、本発明によれば、基本的に前記2種の操作スイッチ、12、14を使用することにより、注入プログラムの作成を行うことができる。従って、例えば第5図に示すようなパターンに設定した注入プログラムのタイムチャートを示せば、第5図に示す通りである。

(発明の効果)

前述した実施例から明らかなように、本発明によれば、プログラム制御システムに予め注入量の必要最小限のプログラム登録とその設定範囲および単位とを決定しておき、それぞれのプログラム登録を項目選択スイッチにより順次呼び出してその数値設定を1個のスイッチ操作により所定のステップで変化させることが入力することができる。従って、従来のようにテンキーや複雑なファンクションキーを設けることなく、2種類のスイッチで多

- 15 -

様な注入プログラムの設定および変更を容易に達成することができる。従って、本発明のポンプは、今日最も普及しているCSII(Continuous Subcutaneous Insulin Infusion)に好適に適用することができる。

以上、本発明の好適な実施例について説明したが、本発明はインスリンの注入のみならず、その他各種の輸液注入のための連続微量注入ポンプとして広範囲に適用することができるばかりでなく、本発明の精神を逸脱しない範囲内において様々な設計変更をなし得ることは勿論である。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明に係るプログラム可能な連続微量注入ポンプのプログラム制御システムの構成図、第2図は本発明に係る連続微量注入ポンプのポンプ構造の一実施例を示す構成図、第3図は本発明に係る連続微量注入ポンプの操作部の一実施例を示す外観図、第4図は本発明に係る連続微量注入ポンプにおいて

作成された注入プログラムの内容とその表示パターンの一実施例を示す説明図、第5図は本発明に係る連続微量注入ポンプにおいて作成された注入プログラムの一実施例を示すタイムチャート図である。

- | | |
|---------------|---------|
| 10…開始/停止スイッチ | |
| 12…項目選択スイッチ | |
| 14…設定数値入力スイッチ | |
| 16…制御器 | 18…表示器 |
| 20…電動モータ | |
| 22…シリンジポンプ | 24…CPU |
| 26…入力インタフェース | |
| 28…メモリ | |
| 30…出力インタフェース | |
| 32…回転センサ | |
| 34…ケーシング | 36…シリンジ |
| 38…ピストン | |
| 40…ブランジャ | 42…移動体 |
| 44…減速機 | |
| 46…電動モータ | 48…ピニオン |

- 17 -

- 18 -

- | | |
|--------------|---------|
| 50…送り出し | 52…ギヤ機構 |
| 54…電池収納部 | 56…電池 |
| 58…輪流チューブ | 60…注入口 |
| 62…手動レバー | |
| 64…ワンウェイクラッチ | 66…歯車 |
| 68…ワンウェイクラッチ | |

特許出願人 日機装機株式会社
出願人代理人 弁護士 浜田 浩

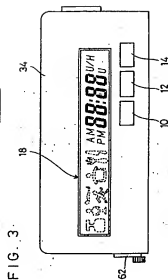
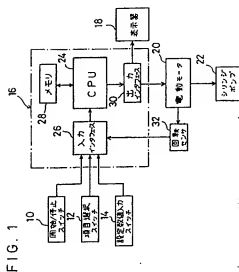
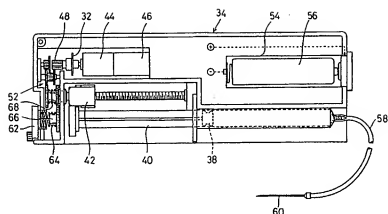


FIG. 2



設 定 項 目	表 示 内 容	設定(表示)範囲(単位)
(1) インスリン濃度	40 U	20/60/100 [U/mL]
(2) 昼間注入開始時刻	$6:00 \text{ AM}$	1:00-12:00 [1 Hour (AM/PM)]
(3) 昼間注入速度	2.16 U/h	※1 [U/h]
(4) 一時注入開始時刻	$5:30 \text{ PM}$	1:00-12:00 [1 Hour (AM/PM)]
(5) 一時注入速度	1.00 U/h	※1 [U/h]
(6) 夜間注入開始時刻	$11:00 \text{ PM}$	1:00-12:00 [1 Hour (AM/PM)]
(7) 夜間注入速度	0.92 U/h	※1 [U/h]
(8) 現在時刻	$8:55 \text{ AM}$	1:00-12:59 [1 min. (AM/PM)]
(9) 予定量	10 U	0-250 [U]
(10) 残量	3 U	0-250 [U]
(11) 最新ボラス注入量	12.0 U	※1, 2 [U]
(12) 最新ボラス注入時刻	$7:00 \text{ AM}$	1:00-12:00 [1 Hour (AM/PM)]

※1. インスリン濃度 注入速度範囲(ステップ) ボラス量(ステップ)

100	0.00-12.75 (0.05)	0.0-25.0 (1.5)
40	0.00-05.10 (0.02)	0.0-25.0 (1.0)
20	0.00-02.55 (0.01)	0.0-25.0 (0.5)

※2. ボラス注入量が25.5U 以上になると、ボラス量表示は「25.5U」となる。

FIG. 4

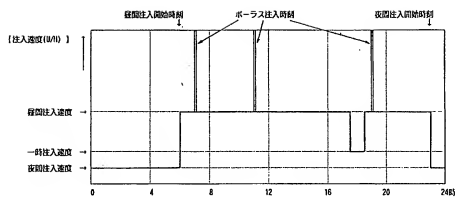


FIG. 5

Japanese Laid-open Patent Publication No. Sho 63-238870

Publication Date: October 4, 1988

Japanese Patent Application No. Sho 62-71744

Japanese Patent Application Date: March 27, 1987

Applicant: Nikkiso co., ltd.

Title of the Invention: PROGRAMMABLE CONTINUOUS TINY
AMOUNT INFUSION PUMP

WHAT IS CLAIMED IS:

1. A continuous tiny amount infusion pump comprising a syringe for reserving an infusion liquid, a piston moved by pushing in a fixed direction by a plunger inserted in said syringe, a movable body connected to said plunger for reciprocating said plunger, a feed screw shaft in screw engagement with said movable body, and a driving means for rotatably driving said feed screw shaft, wherein:

a program control system includes three switches comprising:

a single item selection switch making it possible to sequentially select plural items for determining an infusion pattern including daytime infusion start time, daytime infusion rate, nighttime infusion start time, nighttime infusion rate, infusion liquid concentration, planned infusion amount and the like,

a value setting input switch making it possible to sequentially input setting value with regard to said items for setting said infusion pattern selected, and

a start/stop switch ;

said driving means is followed by said infusion pattern by operating said each switch.

□. The continuous tiny amount infusion pump of claim 1,

wherein said single item selection switch including an item for determining momentary infusion start time and momentary infusion rate.

□. The continuous tiny amount infusion pump of claim 1,

wherein said single item selection switch including items for displaying updated bolus infusion amount and updated bolus infusion time,

said infusion pump further comprising an externally operable manual lever for bolus infusion.

DETAILED DESCRIPTION OF THE INVENTION

[Applicable Industrial Field]

The present invention relates to a continuous tiny amount infusion pump for infusing a tiny quantity of an infusion or the like into a human body or the like continuously for a predetermined time, and particularly to a programmable continuous tiny amount infusion pump such that the infusion of a desired amount of an infusion can be varied with lapse of time according to a predetermined program.

[Related Art]

Hitherto, as this kind of minute amount infusion pump, there has been proposed, for example, a pump device including a housing with such a size as to make the device portable, wherein a pump mechanism including a syringe and a piston inserted therein, a movable member attached to an operating end part of a plunger connected to the piston, a screw shaft put in screw engagement with the movable member and disposed in parallel to the plunger, an electric motor for rotatingly driving the screw shaft, and a control mechanism therefor are contained in the housing (refer to, for example, Japanese Patent Laid-open No. Sho 58-221955).

In this pump device, the electric motor is driven in

proportion to the number of pulses generated by a pulse generator to thereby obtain a required infusion rate, and it is possible to drive the electric motor by preliminarily setting a fixed fundamental instruction pulse number and to variably set an liquid medicine infusion rate by generating a number of pulses not less than the fundamental instruction pulse number. In this kind of pump device, however, the liquid medicine infusion rate is regulated by manually operating the control mechanism, if necessary, and, it is difficult to perform on a programmable basis a variable minute-amount infusion for one day such as, for example, infusion of insulin to a diabetic.

From this point of view, the present applicant has previously developed a liquid medicine infusion pump device comprising a pump part, a timer control unit for setting the period of an infusion pattern, a step data input part for dividingly setting the period of the infusion pattern in a plurality of steps, an infusion amount data input part, a memory part for storing the infusion amount data and outputting the data to a pump drive control unit on the basis of each of the steps, and a pump drive control unit for converting an infusion amount data signal sent from the memory part into a motor

driving signal proportional to the infusion amount data signal (Japanese Patent Publication Nos. Sho 59-11923 and Sho 60-5797).

With the pump device thus configured, in the case of, for example, insulin treatment of a diabetic, it is possible to simply achieve a programmable insulin infusion according to the pattern of variation in blood sugar level in one day of a diabetic, in place of a method in which insulin is injected to the patient several times a day.

[Problems to Be Solved by the Invention]

In the conventional liquid medicine infusion pump device capable of a programmable drive control as above-mentioned, it is possible to finely set the infusion amount data to be inputted, and therefore to set the period of the infusion pattern in diversity, so that it is possible to provide a system by which it is possible to form a liquid medicine infusion program according to the characteristics of each of many patients and which is excellent in universality. On the other hand, however, it is necessary to operate many ten-keys and function keys in forming the program or inputting the data. In addition, attendant on the enhancement of control performance, not only the number of electronic parts for constituting the

control system is increased, but also the control circuit is complicated, and the device becomes larger in size and lower in portability.

As has been mentioned above, the insulin infusion to a diabetic must be conducted in minute amounts and continuously. Therefore, the device is required to have a very small size such as pocket size is needed for convenient carrying, and to ensure that the device can be easily operated by the patient himself and the injection program can easily be set and modified. However, in relation to the setting of a fine injection program, as in the case of the configuration of the device previously proposed, there are limitations as to readiness of operation and reduction in device size.

Considering the injection amount in the general insulin treatment, it is desirable for the injection amount to be different between the daytime when the patient is fundamentally active and the nighttime when the patient is sleeping. In addition, there is a case where the blood sugar level varies due to variations in the day-basis rhythm of life of the patient; for coping with this, it is necessary to momentarily increase or decrease the quantity of insulin injected, and, therefore, it is preferable to set the timing of such momentary

injection. Further, since the variation in the blood sugar level of the patient appears after meal, it is preferable that bolus injection can be performed according to the timing of this variation. In view of this, basically, it suffices that the injection control can be set and modified on a programmable basis according to the day-basis schedule of the patient. Specifically, it suffices, for example, that setting of times in daytime and nighttime as well as injection rates, one-time injection start times and injection rates during the set times, etc. can be set. Along with this, it is made possible to obtain a very small device size and to achieve simplification of the mechanism and operation for programmable insulin injection.

Accordingly, it is an object of the present invention to provide a continuous minute amount infusion pump for infusion of a liquid medicine or the like in which a continuous infusion program can easily be set and modified, in which a simplified operating mechanism and a facilitated operation can be realized, which can be configured in a very small size, and which is programmable.

[Means for Solving the Problems]

According to the present invention, there is

provided a continuous tiny amount infusion pump comprising a syringe for reserving an infusion liquid, a piston moved by pushing in a fixed direction by a plunger inserted in said syringe, a movable body connected to said plunger for reciprocating said plunger, a feed screw shaft in screw engagement with said movable body, and a driving means for rotatingly driving said feed screw shaft, wherein:

a program control system includes three switches comprising, a single item selection switch making it possible to sequentially select plural items for determining an infusion pattern including daytime infusion start time, daytime infusion rate, nighttime infusion start time, nighttime infusion rate, infusion liquid concentration, 'planned infusion amount and the like, a value setting input switch making it possible to sequentially input setting value with regard to said items for setting said infusion pattern selected, and a start/stop switch ; said driving means is followed by said infusion pattern by operating said each switch.

In the continuous tiny amount infusion pump, said single item selection switch can include an item for determining momentary infusion start time and momentary infusion rate. The continuous tiny amount infusion pump, it is

preferable that said single item selection switch includes items for displaying updated bolus infusion amount and updated bolus infusion time, said infusion pump further comprising an externally operable manual lever for bolus infusion.

[Operation]

According to the programmable continuous minute amount infusion pump of the present invention, in relation to the setting and modifications of an infusion program in a program control system for driving control of a pump, the infusion pattern items such as infusion start time, infusion rate, planned infusion amount and infused liquid medicine concentration can be sequentially selected using a single item selection switch, and desired values for the items of the infusion pattern selected can be sequentially set within preset ranges and in predetermined step changes while using a single set point input switch. Accordingly, the infusion program can be formed through simple operations, and an appropriate continuous minute amount infusion of a liquid medicine can be realized.

[Embodiments]

Now, embodiments of the programmable continuous minute amount infusion pump according to the present

invention will be described in detail below, referring to the accompanying drawings.

FIG. 1 is a block diagram of the continuous minute amount infusion pump according to the present invention. A program control system shown in FIG. 1 includes three operating switches 10, 12, 14, a manual lever switch 15, a controller 16, and a display 18, and a syringe pump 22 is operated through driving control of an electronic motor 20 by an output signal from the control unit 16. The operating switches comprises a start/stop switch 10 for instructing the start and stop of operation of the electric motor 20, an item selection switch 12 for setting each of various items for forming an infusion pattern, and a value setting input switch 14 for setting the value for the items. The controller 16 includes a CPU 24, an input interface 26 for inputting external signals sent from the operating switches 10, 12 and 14 to the CPU 24, a memory 28 for storing a program and an output interface 30 for outputting external signals from the CPU 24. Therefore, a control output signal for controlling the electric motor 20 and a display signal sent to the display 18 are outputted from the output interface 30 provided in the controller 16. Incidentally, the electric motor 20 is provided with a rotation sensor 32, and the

operating condition of the electric motor 20 is fed back to the controller 16 so as to contrive stabilization of the control.

FIG. 2 shows the pump structure of the continuous tiny amount infusion pump according to the present invention.

In FIG. 2, reference symbol 34 denotes a casing, of which the overall size is a very small size such as pocket size. A cylinder 36, a piston 28 and a plunger 30 inserted therein, a movable body 42 for pushing the plunger 40, and an electric motor 46 having a speed reduction gear 44 for moving the movable body 42 are provided inside the casing 34. Incidentally, a rotational output of the electric motor 46 is transmitted to the rotation sensor 32 and a pinion 48 through the speed reduction gear 44. On the other hand, the movable body 42 is in screw engagement with a screw shaft 50 disposed in parallel to the plunger 40, and an end part of the screw shaft 50 and the pinion 48 are appropriately connected to each other through a gear mechanism 52. Incidentally, a power source battery containing part 54 is provided at a part of the casing 34 so that a commercially available battery 56 can be contained in a replaceable state. In addition, an infusion tube 58 is connected to a tip part

of the syringe 36, and an injection needle 60 is attached to the tip thereof. Further, an externally operable manual lever 62 is provided at a part of the casing 34, a swiveling motion of the lever 62 is transmitted to a gear 66 meshed with a part of the gear mechanism 52 through a one-way clutch 64 including a coil spring so that bolus injection can be performed by giving an additional rotation to the gear mechanism 52. Incidentally, in this case, a one-way clutch 68 including a coil spring is provided also on the side of the gear mechanism 52.

Now, in relation to the functions of the operating switches constituting the program control system in the continuous tiny amount infusion pump according to the present invention, the procedure of forming an infusion program will be described below, together with a display example thereof.

FIG. 3 shows the configuration and arrangement of the operating switches 10, 12, 14 and the manual lever 62 and the display 18 of the continuous tiny amount infusion pump shown in FIG. 2. By use of the item selection switch 12 and the value setting input switch 14, of these operating switches, the infusion program can be formed. More specifically, items relevant to (1) insulin concentration, (2) daytime infusion start time, (3)

daytime injection rate, (4) momentary infusion start time, (5) momentary infusion rate, (6) nighttime infusion start time, (7) nighttime infusion rate, (8) current time, (9) planned amount, (10) integrated amount, (11) updated bolus infusion amount, (12) updated bolus infusion time are sequentially selected by sequentially operating the item selection switch 12. In the case of setting or modifying the value in the items, these can be sequentially inputted within preset ranges and in preset units by use of the value setting input switches 14. For example, in the case of the insulin concentration, the preset range is preliminarily set to 20 U, 40 U or 100 U, and one of the insulin concentrations can be selected and set by operating the value setting input switch 14. The infusion program selected and set in this manner can be displayed as shown in FIG. 4. In addition, various infusion start times can be set by one-hour units (steps) over the range of from morning (AM) to afternoon (PM) in a set range of from 1:00 to 12:00. Besides, the infusion rate in each of these cases can also be set by 0.01 to 0.05 U/H units (steps) in a set range of 0.00 to 12.75 in terms of insulin concentration. Incidentally, the details of them are as shown in FIG. 4. More specifically, the items selected using the item selection switch shown in

FIG. 4 are classified into infusion control items composed of daytime infusion start time, daytime infusion rate, nighttime infusion start time, nighttime infusion rate, momentary infusion start time, momentary infusion rate; set items composed of insulin concentration and planned infusion amount; and display items composed of integrated infusion amount, updated bolus infusion amount, and updated bolus infusion time or current time. Incidentally, the current time can be adjusted. Besides, in this case, the bolus injection can be when desired, and injection of a predetermined amount can be performed by a patient's manual operation of the lever 62.

In the case of the bolus injection, by operating the manual lever 62, it is possible to inject an arbitrary amount at an arbitrary time, separately from a preset injection program. In the case where the insulin concentration is 40 U/mL, for example, as shown in FIG. 4, operating the manual lever 62 one time gives a bolus injection amount of 1.0 U, and operating the manual lever 62 two times gives a bolus injection amount of 2.0 U. Therefore, according to the present invention, the injection program can be formed basically by using the two operating switches 12 and 14. Accordingly, a time chart of an infusion program set in the pattern shown in

FIG. 5, for example, is shown as shown in FIG. 5.

[Effects of the Invention]

As is clear from the embodiment described above, according to the present invention, a required minimum number of program elements for an infused liquid medicine and set ranges and units for the elements can be preliminarily determined in a program control system, the program elements can be sequentially called by use of an item selection switch, and set points for the elements can be inputted while changing by predetermined steps by use of a single-switch operation. Therefore, without need to arrange ten-keys and complicated function keys as in the existing art, it is possible by use of two kinds of switches to easily perform setting and modification of multi-functionally infusion programs. Accordingly, the pump of the present invention is suitably applicable to CSII (Continuous Subcutaneous Insulin Infusion) which is the most popularly practiced today.

While the present invention has been described referring to a preferred embodiment thereof, the application of the invention is not limited to injection of insulin, and the pump of the invention can be widely applied as a continuous minute amount injection pump for injection of various infusions. Moreover, various design

modifications are naturally possible within the scope of the spirit of the invention.

BRIEF DESCRIPTION OF THE DRAWINGS

FIG. 1 is a block diagram of a program control system of a programmable continuous tiny amount injection pump according to the present invention; FIG. 2 shows the configuration of an embodiment of the pump structure of the continuous tiny amount injection pump according to the present invention; FIG. 3 shows an appearance of an embodiment of an operating part of the continuous tiny amount injection pump according to the present invention; FIG. 4 is an illustration of an embodiment of the contents of an injection program formed in the continuous tiny amount injection pump according to the present invention and a display pattern thereof; and FIG. 5 is a time chart of an embodiment of an injection program formed in the continuous tiny amount injection pump according to the present invention.

10: start/stop switch; 12: item selection switch;
14: set point input switch; 16: controller; 18: display;
20: electric motor; 22: syringe pump; 24: CPU; 26: input interface; 28: memory; 30: output interface; 32: rotation sensor; 34: casing; 36: syringe; 38: piston;

40: plunger; 42: movable body; 44: speed reduction gear;
46: electric motor; 48: pinion; 50: feed screw; 52: gear
mechanism; 54: battery containing part; 56: battery; 58:
infusion tube; 60: injection needle; 62: manual lever;
64: one-way clutch; 66: gear; 68: one-way clutch.

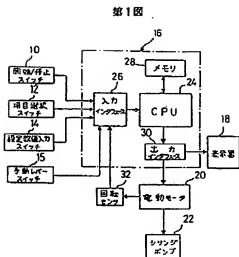


FIG. 1

- 10: START/STOP SWITCH
- 12: ITEM SELECTION SWITCH
- 14: VALUE SETTING INPUT SWITCH
- 15: MANUAL LEVER SWITCH
- 18: DISPLAY
- 20: ELECTRIC MOTOR
- 22: SYRINGE PUMP
- 26: INPUT INTERFACE
- 28: MEMORY
- 30: OUTPUT INTERFACE
- 32: ROTATION SENSOR

第2図

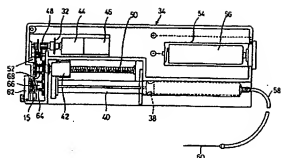


FIG. 2

第3図

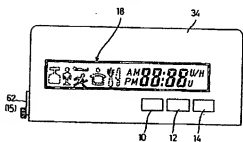


FIG. 3

第 4 図

4-A	設定項目	4-B	表示内容	4-C	設定(表示)範囲[単位]
(1)	インスリン濃度	画	40 _U		20/40/100 [U/mL]
(2)	昼間注入開始時刻	日	6:00		1:00-12:00 [1 hour (AM/PM)]
(3)	昼間注入速度	日	2.16 _{U/H}		※1 [U/H]
(4)	一時注入開始時刻	日	5:30		1:00-12:00 [1 hour (AM/PM)]
(5)	一時注入速度	日	1.00 _{U/H}		※1 [U/H]
(6)	夜間注入開始時刻	日	11:00		1:00-12:00 [1 hour (AM/PM)]
(7)	夜間注入速度	日	0.92 _{U/H}		※1 [U/H]
(8)	滞在時刻	画	8:55		1:00-12:55 [1 min. (AM/PM)]
(9)	予定量	占	70 _g		0-250 [g]
(10)	換算量	占	31 _g		0-250 [g]
(11)	最新ボラス注入量	日	12.0 _g		※1, 2 [g]
(12)	最新ボラス注入時刻	日	7:00		1:00-12:00 [1 hour (AM/PM)]

4-D	4-E	4-F
※1. インスリン濃度	注入速度範囲 (ステップ)	ボラス量 (ステップ)
100	0.00-12.75 (0.05)	0.0-25.0 (2.5)
40	0.00-05.10 (0.02)	0.0-25.0 (1.0)
20	0.00-02.55 (0.01)	0.0-25.0 (0.5)

※2. ボラス注入量が25.5g 以上になると、ボラス量表示は「25.5U」となる。

4-G

FIG. 4

4-A: Setting items

4-B: Display items

4-C: Setting (display) range [unit]

(1): Insulin concentration

(2): Daytime infusion start time

(3): Daytime infusion rate

(4): Momentary infusion start time

(5): Momentary infusion rate

(6): Nighttime infusion start time

- (7): Nighttime infusion rate
 (8): Current time
 (9): Planned amount
 (10): Integrated amount
 (11): Updated bolus infusion amount
 (12): Updated bolus infusion time
 4-D: Insulin concentration
 4-E: Injection rate range (step)
 4-F: Bolus amount (step)
 4-G: When the bolus infusion amount reaches or exceeds
 25.5 U, the bolus amount display becomes [25.5 U].

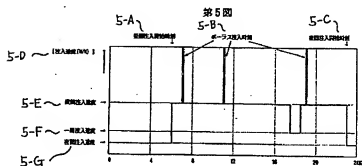


FIG. 5

- 5-A: Daytime infusion start time
 5-B: Bolus infusion time
 5-C: Nighttime infusion start time
 5-D: [Infusion rate (U/H)]
 5-E: Daytime infusion rate

5-F: Momentary infusion rate

5-G: Nighttime infusion rate